

サイコサイバネティクス・セミナー講師の気付き
無料レポート【第5回】

人間には成功の本能があります。動物にもあります。例えば、春に生まれたりスは、冬を知らないのにも関わらず、木の実を冬のために蓄えるのです。これは成功の本能からきています。人間は、動物以上に成功の本能が備わっています。私たちは、成功するために生まれてきたのです。

その成功の本能が、私たち、すべての人の内側に内蔵されている「サーボメカニズム」です。サーボメカニズムは目標（ターゲット）が設定されると、それを本能的に取りに行こうとするのです。これは協力な力です。

しかし、残念なことに、この力は、私たちの内側のセルフイメージと密接な関係があります。例えば、「私は設定した目標を達成できないことがある」というセルフイメージだと、本気で目標を取りに行こうとしません。

そこで、大切なのが、毎日、設定した小さな目標を達成するという生き方です。言い換えれば、達成できる目標しか設定しないのです。目標は、人の許可がない目標でなければなりません。人の許可がある目標だと、どんなに自分が頑張っても、目標を達成できないことがあるからです。自分のコントロール下にあるならば、自由です。自由は、健全なセルフイメージを作ります。

私は、半年（6ヶ月）間、毎日、小さな目標を達成するという習慣を身に付けたときに、その威力を感じ始めました。私のセルフイメージが、「自分で設定した目標は、すべて達成できる！」という強力なものになってきたのです。

すると、どうなるのか？以前に立てた大きな人の許可のいる目標できえ、私のサーボメカニズムは取りに行こうとしているのが分かります。今までは、本気で取りに行こうとしなかった大きな目標を本気で取りに行こうとしているのです。信じられない出逢いを引き寄せます。考えられないことが起こり始めます。これは、すごい！と感じています。

どうやら、サーボメカニズムは、健全なセルフイメージを伴うと、大きな目標も小さな目標も区別が付かないようです。ある方の言葉です。「大きな成功も成功だが、小さな成功も成功である！」これは素晴らしい真実だと思います。

毎日、小さな目標を達成するという勝利の感覚を味わっていきましょう。勝利の感覚（フィーリング）を持つものは豊かなのです。